

## 補助事業成果報告書

法人番号	141001	法人名	麻布獣医学園	学校名	麻布大学
補助項目	研究科共同研究経費 / 高等教育研究改革推進経費 / 教育・学習方法等の改善				
(教育研究課題)	無線 LAN と高輝度マルチメディアプロジェクターを利用した視覚的臨床検査学教育の展開				
1. 補助事業の取組状況 (500 字以内)					
<p>本課題は、高い精度が要求される臨床検査学教育の実習に、無線 LAN に対応した入力装置等と高輝度マルチメディアプロジェクターを導入することにより、随時提示したい顕微鏡観察像や少人数しか参加できない実習の内容を瞬時に学生全員へ明確に提示して説明することで、教育効果の向上を目指したものであり、その対象となる主な実習項目は次の通りである。</p> <p>1. 永久標本作製が不可能な尿沈渣の顕微鏡観察 2. 即時診断が必要な迅速病理組織標本の作製及び観察 3. 顕微鏡下における細菌の形態、運動性の観察 4. 多様な解析を例示する必要がある脳波の高速フーリエ変換分析 5. 自動分析機器による生体成分の視覚的解析および観察 6. 全学生での実施が困難な細胞融合、細胞機能検査等の画面上での観察。</p> <p>それぞれの実習課題に対応する素材入力・編集・提示システムは平成17年度以降に順次導入することし、平成16年度は、これらの実習を実施する実習室(5室)に高輝度マルチプロジェクターを設置した。</p> <p>平成17年度は、1. 永久標本作製が不可能な尿沈渣の顕微鏡観察、2. 全学生での実施が困難な細胞融合、細胞機能検査等の観察、3. 微量サンプルを用いる検査(HIV検査等)および長時間を要する実験(抗体の分離、ウェスタンブロット法等)の観察のための設備を整えた。</p>					
2. 補助事業の成果 (500 字以内)					
<p>平成16年度の事業開始から現在までにマルチプロジェクターを利用した実習は、病理学実習、病理組織学実習、免疫学実習、臨床検査総論実習、微生物学実習、衛生・公衆衛生学実習、実験機器論・同実習等であり、利用形態としては、ビデオ映像、35mmスライド、PC上のパワーポイントプレゼンテーションなどであった。整備計画の途中であるため利用実習数と利用形態は限定的ではあったが、以下の成果を得ることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ カラー素材を鮮明な画像として制約なしに提示でき、白黒印刷の配布物では不可能な実習前の視覚的教育が可能となった。</li> <li>・ 室内の照度を確保しながらの提示が可能になったために、実習操作の中断を強いることがなく、説明が必要な時点で十分な視覚的教育をすることが可能となった。</li> <li>・ 配線の制約はあるものの平成16年度の段階でもビデオライン入力が可能であるため、高輝度なプロジェクターとあいまって、例えばラットの解剖等進行中の実習操作を即時にしかも細かく、通常の実習では観察することが困難な甲状腺や下垂体など提示することが可能となった。</li> </ul> <p>以上、従来に比して視覚的教育の比率を上昇させることができ、学生にも好評であったことは、実習の事前理解と興味の喚起を通じてその内容理解を深めることができたと考えられる。</p>					
本報告書作成者 所属・氏名				連絡先電話番号	
環境保健学部衛生技術学科 福山 正文				(042) 754-7111	